

人手不足に立ち向かう！

省力化事例

深刻化する人手不足に対し、自動化・効率化を進め、省力化につなげている会員企業の事例を紹介します

case

02

テーマ

工場内の業務効率化

搬送ロボットと清掃ロボットの導入で 工場内業務の自動化を推進

工場の移転拡大に伴い、無駄な作業歩数が増えたことをきっかけに、ロボットによる業務の自動化を進めました。以前から親交のあったロボットバンク社の趙さんに相談し、ロボットに必要な機能を検討しながら計画を進行。結果として、搬送の重労働から解放され、掃除に費やしていた時間を整理整頓や実務に充てることができるようになり、肉体的にも時間的にも社員の負担が軽減されました。

最近ではお客様を工場見学に招待する機会が増え、工場内の清潔感や整理整頓など、見た目の印象が以前よりも重要になっています。ロボットによる自動化のおかげで、常に清潔な状態を保てることに満足しています。

掃除ロボット

Before

業務時間内、
人が清掃

After

終業後、
ロボットが自動清掃

- 鉄クズまで吸い取る

■ 業務時間削減

1カ月で約 **10** 時間
(1日27分×22日分)

■ 省力化に使用したロボット製品
ロボットに投資したコスト

スマート清掃ロボット **PIKA-Robot T1**

1台 約 **600** 万円 (カスタム費用含む)

搬送ロボット

Before

人が運搬

After

ロボットが自動走行

- 350 キロまでの重量物を運搬可能
- 荷下ろしポイントを指示するだけで、センサーが判断し、障害物を避けて自動搬送する

■ 作業歩数削減

1日1万歩以上が
5,000 歩以下に

■ 省力化に使用したロボット製品
ロボットに投資したコスト

自律走行搬送ロボット
AMR StarShip-Robot

※共にロボットバンク製

1台 約 **200** 万円 × **2** 台

事務所 PLOFILE

株式会社ワイテック



代表取締役社長 山本文規さん(右)とロボットバンク株式会社 代表取締役 趙 徳鵬さん(左)

2013年開業。プレス金型、樹脂金型、ダイキャスト型などに使用する金型標準部品の OEM と試作、量産、特注品の製造を手掛ける。国内に3カ所の工場と1営業所、海外には中国、ベトナムに工場を持つ。都田工場には約50万部品以上の在庫をストックし、オーダーに応じて追加工を加えて全国に発送している。国内従業員数は28人。



夜間に活躍する掃除ロボット。搬送ロボットはレールなしで自律走行が可能のため、頻繁なレイアウト変更にも柔軟に対応できる

省力化事例の取材企業を募集します

取材申込先：浜松商工会議所 情報推進課 TEL.053-452-1110

